

# Rotary club Rotary

## YACHIYO 週報

第2444回  
2017年9月1日



八千代ロータリークラブ  
CLUB NO.15070



ロータリー：  
変化をもたらす

2017-18年度 国際ロータリーテーマ  
Rotary : Making A Difference  
地区活動方針 「理念と実践 ～ Think Next ～」

2017-18年度 クラブテーマ  
「ロータリー 頑張らないで リラックス」

### The Four-Way Test

#### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

### 今回例会行事

テーマ : 私の生き立ちと今後の相場見通しについて

卓話者 : 安江 啓 会員

担当 : クラブ会報委員会

### 9月8日 2445回 例会行事

テーマ : 人生は運と巡り合わせ

卓話者 : 上代 修二 会員

担当 : 雑誌・クラブ広報委員会

## ◆◆◆◆ 2443回例会 ◆◆◆◆

2017/ 8/25

司会 安江 啓

「奉仕の理想」「みかんの花咲く丘」 斉唱

### お客様

日独産業協会 特別顧問 隅田 貫様  
留学生 フェルディナンド ロマーノ君  
田村 一真君

## ◆◆◆◆ 会長挨拶 ◆◆◆◆

会長 橋本 幹雄



先日、ギリシャに旅行して来ましたので、そこで感じたことをお話致します。皆さんは、ギリシャの首都アテネと云ったらどんな印象を持つでしょうか？

アクロポリスのパルテノン神殿を初めとする古代の神殿の遺跡や近代オリンピック発祥の地など、エジプトのピラミッドと並んで教科書に必ず載っている世界的に知られた都市と云うことではないでしょうか。因みに、アクロポリスとは、アクロが一番高い所、ポリスが街(都市)と云う意味で、街で一番高い場所と云う意味なんだそうです。アテネの街の一番高い所に立っているパルテノン神殿と云うことになります。

そして、アテネの街の何処からでも、アテネの象徴(ランドマーク)であるパルテノン神殿が眺められるようにするため、アクロポリスの景観を阻害するような高い建築物は建てられない厳しい建築規制があるとのことでした。

バスでアテネ市内を巡っているときに強烈に感じた私の第一印象は、「観光で成り立っている街にしては随分と汚い、汚れた街だな」と云うことでした。その原因はただ一つ。首都の顔と云うべき繁華街(日本

で云えば銀座や新宿にあたる中心街)でのビルと云うビルの壁に、世界共通の何語か分からないアルファベットを図形化した独特のいたづら書きや落書きの類がびっしりと書かれたままになっていることでした。一時のニューヨークの地下鉄を思わせるその落書きの多さに、これが観光立国の首都なのかと目を疑ったものでした。

市内散策の途中であまりにも落書きの多さが目についたので、現地ガイドの女性に「ガイドさん、どうしてこんなに落書きだらけなんです？なぜ消さないのですか？」と思わず尋ねてしまいました。すると、そのガイドさんは澄ました顔で、『別に気が付きませんので、気になりません』としらっと答えたのです。現地ガイドさんの余りにもぶっさら棒な返事に鼻白む思いをした私はあることに思い至りました。それは、良い事でも悪い事でも既成事実の積み重ねが続くと、人間はその現状に知らず知らずのうちに慣らされて神経が鈍感になって行く、それが視界の外になっていく(見えなくなってくる)ものなのだと強く感じました。

私は、この落書きの放置に経済破綻の寸前からEU(European Union: ヨーロッパ連合)の資金援助で辛うじて持ちこたえているギリシャの現状を垣間見たような気が致しました。そして、「変えるにはリスクが伴う、変えなければもっと大きなリスクを伴う」と云う言葉を実感しました。

経済的に厳しいことは解りますが、観光で食っている以上、古代の遺跡で食っている以上、その国の経済を支える最大の観光資源を生かす上にも、その首都は国のプライドをかけてでも綺麗にすべきではないか。それが、経済的自立の第一歩ではないか。今、変えることをしないと、それはギリシャを訪れる多くの観光客に悪印象を残し、もっと大きなリスクとなって返ってくるような気がして仕方がありませんでした。もしも、遺跡を見に来たのなら遺跡だけを見てればいいんだと驕った考えだとしたら、万が一、そんなことはないと思いますが…。

我々も事務所の壁にデカデカと殴り書きされた落書きがそのままになっている店を見たら、如何に高級な品物を揃えているお店だとしても、入ることに躊躇するのではないだろうかと思ってしまいました。外見が全てではありませんが、相手を迎え入れる為には、それなりの姿勢やキチンとした身なりが必要なのではないでしょうか。何もおしゃれをしろと云うのではありません、相手に不快な思いをさせないことが事業主の

最低のマナーだと思った次第です。

ギリシャの名誉のためにも一言付け加えておきますと、ギリシャの他の都市やエーゲ海の島々はあまり落書きもなく綺麗でしただけに、首都のアテネの街の印象だけが強く残ってしまったものです。

「変えるにはリスクが伴う、変えなければもっと大きなリスクを伴う」

◆◆◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆◆◆

幹事 三井 啓久



- ・お手元に昨年度のIMの報告書を配布しましたのでご覧下さい。
- ・橋岡ガバナーエレクト事務所が開所となりました。
- ・地区大会記念ゴルフ大会に2組分の申し込みを致します。

◆◆◆◆◆ バナー交換 ◆◆◆◆◆



◆◆◆◆◆ お客様挨拶 ◆◆◆◆◆

田村 一真君



みなさんこんにちは。23日にフェルディナンド君がイタリアから来日しました。彼はとても人懐っこくて、日本の色々な物に関心を持っています。お箸にも挑戦していて、昨日の夕食の時にも上手にお箸を使ってご飯を食べていましたので、とてもびっくりしました。日本のアニメや料理が好きで、僕の父とアニメのセリフを言い合っています。23日の夜に彼の好きなラーメンを食べに行きましたが、イタリアのラーメンとは全然違うと笑いながら言っていました。今日から、学校の友達が泊りに来ますので仲良くできると思います。

僕の出発まであと1週間を切りました。皆さんの支えがあって今の僕があると思っています。本当に感謝しています。既に渡航した友達の写真で日本では経験できない事を経験しているのを見ると、僕も早く行きたい気持ちになります。イタリアで1年間過ごすことによって沢山の事を吸収し、楽しんで来たいと思います。

フェルディナンド ロマーノ君



こんにちは。私はフェルディナンドです。私は日本の精神と文化が大好きなので、日本に来ました。1年

で出来るだけ多くの事を学ぶ事を望んでいます。田村ファミリーはとても優しいです。みなさんどうぞよろしくお願い致します。ありがとうございます。

会長 橋本 幹雄

1年間、勉強も大切ですが身体だけはこわして欲しくないと思い、先日三井幹事と成田山でお守りをもたらしてきましたのでお二人に差し上げます。



#### ◆◆◆◆◆ 委員会報告 ◆◆◆◆◆

50周年実行委員会 実行委員長 渡邊 敏美

先週、50周年の決算について報告があったと思いますが、当初、全員参加とお願いして皆さまのご協力を頂きましたので最後に全員参加で打ち上げを開催したいと思います。

日時：9月29日（金）

場所：カステッロ

青少年奉仕委員会 委員長 中村 賢治

田村一真くんが29日11時40分に成田空港第2ターミナルから出発となります。

9時半に第2ターミナル 3階 出発ロビーに集合となります。人数の確認をしますので、お越しになれる方はお声掛け下さい。

明日、橋本会長、三井幹事、飯生会員、田村会員、中村会員、交換留学生2人でウエルカムパーティーに参加します。

フェルディナンド君には月に1回、近況報告に来て頂く予定ですので楽しみにして下さい。

50周年実行委員会 副実行委員長 君塚 欣哉

次回例会終了後、実行委員の方にお集まりいただき、29日の件について打合せを行いますのでよろしくお願

い致します。

出席委員会 委員長 江口 茂勇

本日の出席率：出席対象者49名 出席者45名

出席率91.8%

#### ◆◆◆◆◆ お祝い ◆◆◆◆◆

本人誕生日：浅野 正敏会員・佐久間 勇治会員

夫人誕生日：安江 ちとせ様（安江 啓会員）

#### ◆◆◆◆◆ 例会行事 ◆◆◆◆◆

会員選考・職業分類委員会 副委員長 杉 晟

ドイツに長くいらっしゃいました、隅田 貴氏にお話しを頂きます。楽しみになさって下さい。

テーマ：「働き方改革」

～生産性向上のヒント/ドイツを参考に～

卓話者：日独産業協会 特別顧問 隅田 貴様



2065年に8千万人台へ人口減少が見込まれる日本にあって、生産性向上は火急の課題です。加えて過労による弊害も注目され、働き方がかつてないほど耳目を集めています。社会全体の生産性向上及び個人の生活充実度向上という両面から働き方改革はこれからの日本にとって焦眉の急と言えます。

ドイツは、人口が8千万人台。日本と同じく少子高齢化の課題を抱えながら、働く人々にとって残業は決して常識ではなく、年間6週間もの休暇が当然となっています。そして一人当たりGDPはドイツの方が日本より高い。日本もドイツも同じく戦後焦土と化した国土から奇跡の経済復興を遂げ、強い自国通貨の中で製品に工夫を重ね、世界で産業立国としての評価を確立しました。にも拘らず、働く人にとっての環境が現状両国では際立って違います。働き方改革に関心が高

まる日本にとり、ドイツを参考にすることは決して無駄ではないと思います。

私は通算で約20年間ドイツで働いてきました。前半は本邦企業の派遣社員として、後半はドイツの老舗会社の本社で唯一の日本人として。

特にドイツ企業で働いたことでドイツ人の働き方についてより多くの実感をえました。その体験を礎に以下若干の私見を申し述べます。

## 1. 意識

日本人は自律がすぐれ、ドイツ人は自立を大切にしていると感じます。

ドイツではアサインメントが明確であるので、自分の仕事に責任を持ち、帰宅に同僚を気兼ねすることはまずありません。日本と決定的に違うことは無用の同調圧力が全くないということです。

いわゆる「ほう（報告）・れん（連絡）・そう（相談）」がとても限定的であったことも印象的でした。社外へメールを発信する際に上司へ写しを入れることもルールにありません。上司不在だから、上司へ確認の上返答。。。ではなく、上司不在ゆえに任された範囲であれば、自分で率先して決めていく。。。のが当然でした。会議の数も限定的です。

## 2. コミュニケーション

各人のアサインメントが決められているとは申せ、いや、だからこそ、例えば部署を隔てた対話、会話を重視しています。フロントとバックなど違う部署のヘッド同士が誘い合ってランチを共にしている姿を何度も見かけました。

円滑な社内コミュニケーションは、これにとどまりません。

日本では終業後「飲みコミュニケーション」は時に大切な役割を果たします。ドイツではまずお目にかかりません。ただ、時折私の職場では例えば金曜日の夕刻17時以降に誰ともなく、ワインを持ち寄って職場での「チョイ飲み」が始まります。誰でも三々五々集まって、勝手な時間で帰宅していきます。一時間ほどでお開き。とても効率的な「飲み会」です。

## 3. 時間の管理

朝から5時に退社するつもりで、集中して仕事に取り組んでいるため、無駄なことを極力省く一方で、仕事の優先順位についての見極めを徹底しています。

なぜ、今、この仕事をすべきか？という点を常に明

確に考えている気がしました。

家族との時間、自分の時間は通常もっとも高い優先順位です。

ワークライフバランスという言葉は日本でよく聞きますが、ドイツでは滅多に聞いたことはありません。強いて申せば、ライフ・ワークバランスであり、敢えて言葉にする必要もないくらい常識になっています。

## 4. チームワーク

チームワークの重要性については洋の東西を問いません。

ただ、日本は戦う前にチームの和（輪）をしっかり確認することに重きを置く一方で、ドイツ（だけではないと存じますが）では、ある意味、勝って初めてチームの和ができるという違いを感じました。どちらが優れているという議論ではありませんが、一人一人のプロ意識が結果を伴ってできるチームワークの存在は特にプロスポーツの世界に顕著に見られました。こうしたチームワークビルディングにあたってのリーダーは決して「利害調整型」ではなく「戦略を自ら提示して、リスクを取ってチームを導く、率先垂範型」が求められます。

## 5. 働く環境

ドイツの会社では日本以上に多様な働き方に接しました。

事情で週4日しか働かない社員、自宅で仕事に取り組む社員、様々です。

会社が必要としている人材であれば、極力柔軟な働き方を認めていくという文化には無用の同調圧力は微塵も見られません。

多様性の受容と自主性の尊重が働く人にとって大きなモチベーションになるということを改めて実感しました。

## 6. 日本でも直ちにできる試み

ドイツ人が日本人より優れているのでしょうか？私は決して思いません。

むしろ、外国で仕事をする中で、日本人の優秀さ、日本人の慣習の重要性を改めて認識することは少なくありませんでした。丁寧・清潔・親切・正直。これは世界に誇れる日本人の美德です。そして、ひと手間かける余裕や、こだわり。使う人の為に、作り手の方がこのひと手間をかけるこだわりは日本人ならではだと思えます。

実際、上記のことは日本（人）でもその気になれば、今日からでもできることばかりです。要は、働く場が多様性を大いに受容し、自主性を最大限尊重する一方

で、働く個人個人が自立した生き方をしていけば、生産性も向上し、そして個人の人生が充実したものになっていくと確信してやみません。

◆◆◆◆ ニコニコBOX (¥21,000) ◆◆◆◆

- 浅野 正敏：誕生祝いありがとうございます。  
そしてフェルディナンド君ようこそ。
- 山崎 克巳：前回欠席しました。
- 永田 勝久：フェルディナンド君ようこそ。  
田村一真君行ってらっしゃい。
- 飯生高一郎：フェルディナンド君ようこそ日本へ。  
そして八千代RCへ。
- 安宅 照男：早退します。
- 齋藤 敏夫：フェルディナンド君、八千代RCへようこそ。
- 嶋田 陽一：ようこそフェルディナンド君、田村君  
行ってらっしゃい。
- 浅野 正敏：フェルディナンド君ようこそ。
- 江口 茂勇：隅田様卓話楽しみにしています。
- 杉 晟：隅田貴さん、卓話楽しみにしております。
- 杉山 智基：フェルディナンド君、田村君、ようこそ  
八千代RCへ！
- 大中 宏道：隅田様卓話よろしくお願いします。  
フェルディナンド君ようこそ。  
田村一真君行ってらっしゃい。
- 君塚 欣哉：隅田様、今日は卓話宜しくお願ひいたします。  
フェルディナンド君ようこそ。
- 風間 茂：隅田様卓話楽しみにしています。

◆◆◆◆ 友愛BOX (¥24,000) ◆◆◆◆

佐久間勇治：誕生祝ありがとうございます。  
63才になりました。これからもよろしく  
お願ひ致します。

- 橋本 幹雄：ボンジョルノ！フェルディナンド君よう  
こそ！
- 中村 賢治：フェルディナンド君ようこそ八千代ロータ  
リーへ。23日成田空港へ迎えに来て頂いた  
会員のみな様ありがとう御座いました。  
田村一真君イタリアへ行ってらっしゃい。
- 中島 貞好：フェルディナンド君ようこそ。田村一  
真君行ってらっしゃい。
- 嶋田 陽一：妻の誕生日にお花ありがとうございます。  
お陰様で機嫌がいいです。
- 三井 啓久：フェルディナンド君ようこそ日本へ。  
一真君気をつけて行ってらっしゃい。  
隅田様卓話よろしくお願ひします。
- 田村 隆治：フェルディナンド君ようこそ！
- 市原 正男：フェルディナンド君ようこそ。  
一真君1年間がんばって！  
(イタリアの女性には気をつけて)
- 飯田 明彦：フェルディナンド君ようこそ日本へ、八千  
代へ。
- 稲山 雅治：隅田様ようこそ八千代RCへ。卓話楽しみに  
しています。  
フェルディナンド君1年間よろしくお願  
ひします。  
一真君1年間楽しんで来て下さい。
- 宮野 宗雄：フェルディナンド君ようこそ。  
隅田貴様卓話楽しみにしております。
- 古川 洋：隅田様、卓話よろしく御願ひします。
- 江頭 泰利：田村君頑張ってください。
- 鈴木 利雄：フェルディナンド君ようこそ。  
田村一真君行ってらっしゃい。  
隅田様卓話よろしくお願ひします。
- 朝戸 健夫：フェルディナンド君ようこそ！  
田村一真君行ってらっしゃい！
- 渡邊 敏美：先週欠席しました。

◆2017年9月のロータリーレート=109円

近隣クラブ例会日 例会場

火曜日 四街道R.C	(四街道ゴルフクラブ)
火曜日 八千代中央R.C	(ウィシュトンホテル・ユーカリ)
水曜日 習志野R.C	(習志野商工会議所会館)
水曜日 佐倉中央R.C	(ウィシュトンホテル・ユーカリ)
木曜日 佐倉R.C	(フランス料理・シェ・ムラ)
木曜日 習志野中央R.C	(習志野商工会議所会館)

例会出席率 ※欠席の時は必ず前日までに出席委員長に連絡して下さい。

	会員総数	出席対象者	出席	%
8/25	51	49	45	91.8

■出席委員長 江口 茂勇  
携 帯:090-3133-0839 TEL:047-487-1085  
FAX:047-485-5567

■例会日 金曜日 12:30 ~ 13:30

■例会場 パッソノヴィータ(〒276-0049 八千代市緑が丘1-1-1 公園都市プラザ1F FAX:047-450-0050)

君が代

君が代は  
千代に八千代に  
さざれ石の  
巖となりて  
苔の生すまで

ピアノ伴奏：山口美樹

■クラブ会報委員会  
委員長：大中 宏道 副委員長：安宅 照男

TEL:047-459-5806